

***Design the Future***

2014年3月期  
第3四半期  
決算説明資料

  
**株式会社ダイセル**

2014年2月5日

# 目 次



**2014年3月期 第3四半期実績**

**P 3 ~ P 10**

**株主還元**

**P 11**

**参考資料**

**P12 ~ P15**

***Design the Future***



2014年3月期  
第3四半期実績

# 業績概要



単位：億円

	13年3月期 第3四半期	14年3月期 第3四半期	増減	増減率
売上高	2,657	3,032	+375	+14.1%
営業利益	199	283	+84	+42.2%
経常利益	214	318	+104	+48.3%
当期純利益	118	190	+72	+61.5%
為替レート	80 円/\$	99 円/\$		

# 連結損益計算書



単位：億円

	13年3月期 第3四半期	14年3月期 第3四半期	増減	備 考
売上高	2,657	3,032	+375	数量差 +63 単価差 +312(為替 +292)
売上総利益	601	725	+125	
販売費及び 一般管理費	402	443	+41	
営業利益	199	283	+84	数量影響 +1      その他 △5 価格影響 +88(為替 +67)
営業外損益	16	35	+20	為替損益改善 +21
経常利益	214	318	+104	
特別損益	△ 10	16	+25	
税金等調整前 当期純利益	205	334	+129	
法人税等、 少数株主利益	87	144	+57	
当期純利益	118	190	+72	

# セグメント別 売上高・営業利益分析

## 【売上高】

単位：億円

	13年3月期 第3四半期	14年3月期 第3四半期	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	549	680	+130	+30	+101
有機合成	526	586	+60	+10	+50
合成樹脂	1,063	1,139	+76	△13	+89
火工品	475	584	+108	+36	+72
その他	43	44	+1	0	
合 計	2,657	3,032	+375	+63	+312

## 【営業利益】

	13年3月期 第3四半期	14年3月期 第3四半期	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	96	136	+40	△3	+43	0
有機合成	32	44	+12	+7	+5	△1
合成樹脂	99	93	△6	△18	+17	△5
火工品	31	74	+43	+19	+23	+1
その他	4	0	△4	△4	0	0
全 社	△64	△64	△0	0	0	△0
合 計	199	283	+84	+1	+88	△5

# セルロース事業 セグメント

**売上高** +130億円

為替影響 +80億円

◆ 酢酸セルロース :

液晶フィルム向けTAC：フィルムの薄膜化と液晶ディスプレイの不調で減少

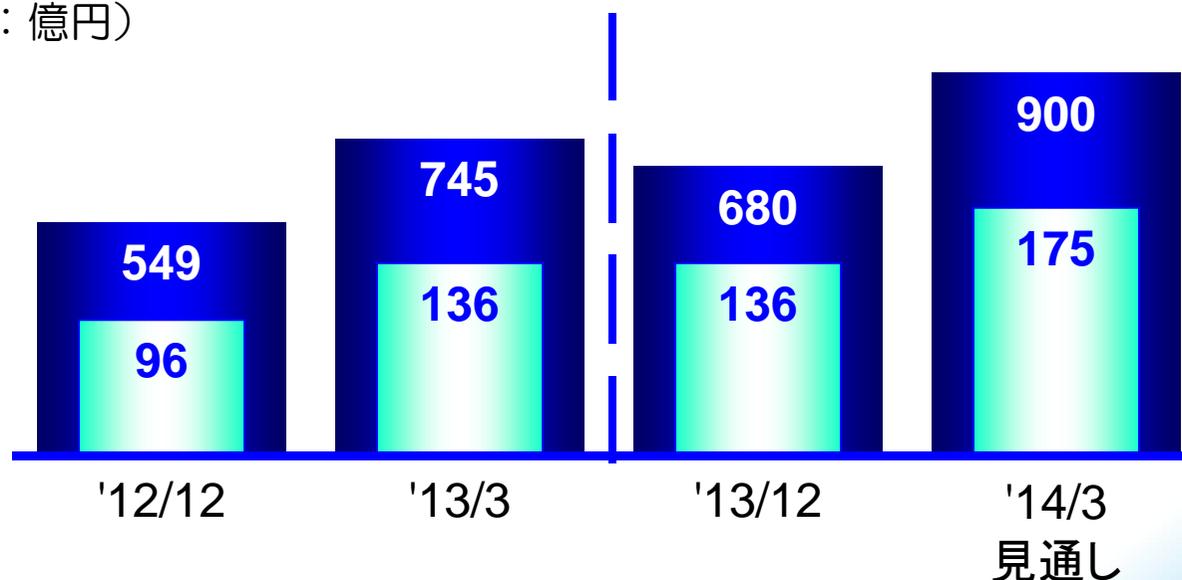
◆ たばこフィルター用アセテート・トウ :

網干工場の2年に1度の定期修繕などによる減産があったが、7月からの大竹工場と網干工場での増産が寄与したことや、海外向け販売が好調に推移したこと、販売価格是正、為替の影響により、増収

**営業利益** +40億円

販売価格是正と為替の影響などにより増益

(単位：億円)



# 有機合成事業 セグメント

**売上高** +60億円

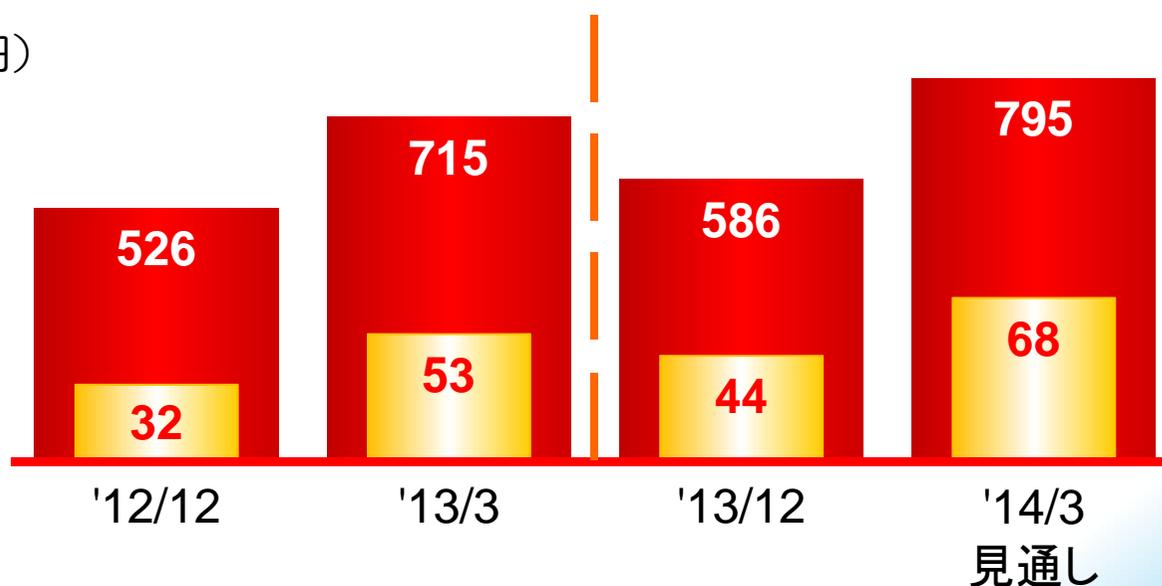
**為替影響** +33億円

- ◆ **酢酸**： 網干工場の2年に1度の定期修繕を実施したこと、PTAメーカーの稼働低下による需要減で販売数量減 原燃料アップ分の価格転嫁や為替の影響により、増収
- ◆ **酢酸誘導品等汎用品および有機機能品**： 電子材料向けの販売数量増加や為替の影響により、増収
- ◆ **CPI**： カラム販売が好調に推移したことや為替の影響により、増収

**営業利益** +12億円

機能品を中心とした数量増と為替の影響などにより増益

(単位：億円)



# 合成樹脂事業 セグメント

売上高 +76億円

為替影響 +103億円

## ◆ ポリプラスチックス（12月決算）：+ 43億円

当第3四半期にあたる平成25年1～9月においては、自動車の生産台数減少や電子デバイス製品の販売低調の影響で販売数量減 為替の影響により増収

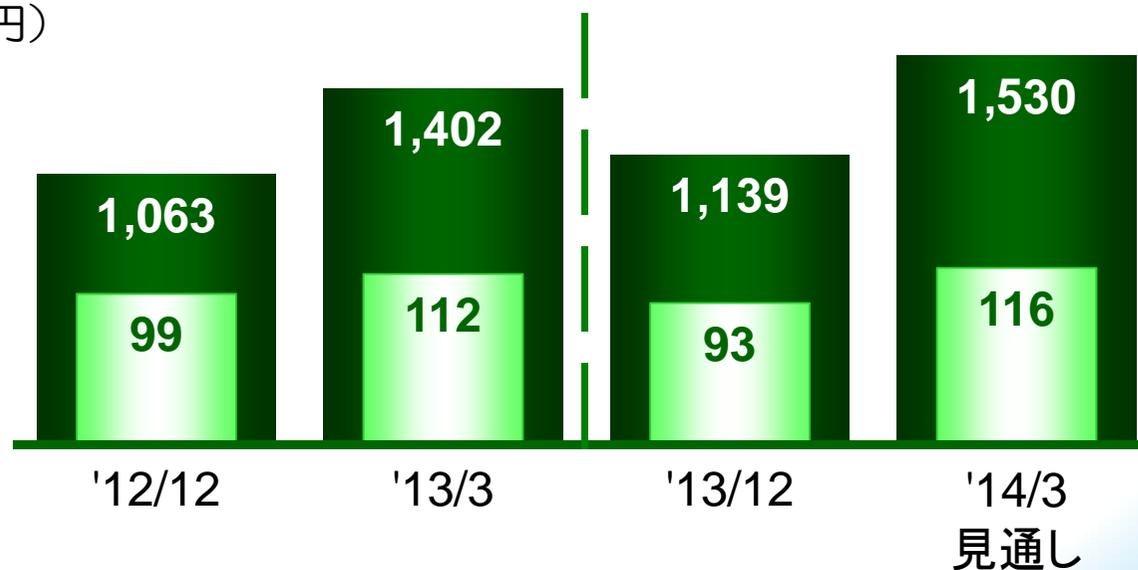
## ◆ ダイセルポリマーGr.： +26億円

自動車部品向けなどが堅調に推移し、増収

営業利益 93億円

数量減や経費の増加などにより減益

(単位：億円)



# 火工品事業 セグメント

売上高 +108億円

為替影響 +77億円

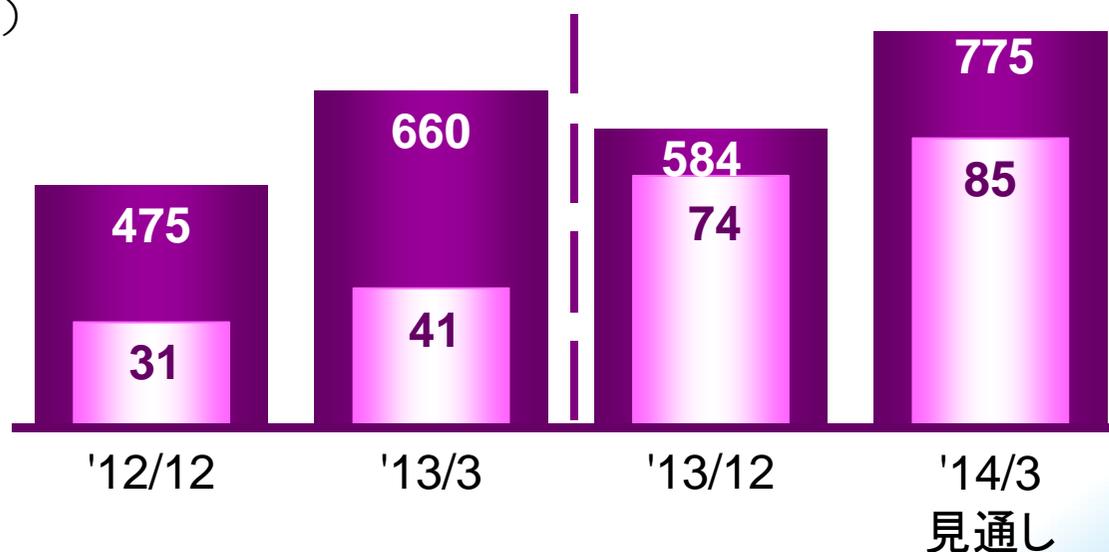
## ◆ インフレータ事業：

北米自動車市場の拡大基調の継続や中国での日本車販売の回復、為替の影響により、増収  
インフレータ販売数量：前年第3四半期 3990万個 ⇒ 当第3四半期 4450万個（+460万個）

営業利益 +43億円

販売数量の増加や為替の影響などにより増益

（単位：億円）



## 配当予想修正

当期の期末配当：1株につき 9円  
(3円増配)

当期の年間配当は、  
1株につき15円(3円増配)となります

株主還元性向 30%を目標にしています

※ 株主還元性向 = (配当額 + 自己株式取得額) ÷ 連結純利益

# ***Design the Future***



# 連結貸借対照表



単位：億円

	2013年 3月末	2013年 12月末	増減	備 考
流動資産	2,322	2,579	+257	
現預金及び有価証券	547	648	+100	
受取手形及び売掛金	770	833	+63	
棚卸資産	830	918	+88	
その他	175	180	+5	
固定資産	2,293	2,510	+217	
有形固定資産	1,493	1,559	+65	取得+185、償却 △162、為替換算差+44
無形固定資産	136	140	+4	
投資その他資産	664	812	+148	投資有価証券時価評価額+109
資産合計	<b>4,615</b>	<b>5,089</b>	<b>+474</b>	
負債	1,986	2,147	+160	
有利子負債	992	1,087	+95	有利子負債比率 21.4%
その他	994	1,060	+66	
純資産	2,629	2,942	+313	自己資本比率 52.7%
負債純資産 合計	<b>4,615</b>	<b>5,089</b>	<b>+474</b>	

# 2014年3月期業績見通し



注: 第2四半期決算時発表値。第3四半期決算時点での見直しは行っておりません。

単位: 億円

	13年3月期 実績	14年3月期 見通し	増減	増減率
売上高	3,585	4,070	+485	+13.5%
営業利益	262	360	+98	+37.4%
経常利益	286	380	+94	+33.0%
当期純利益	154	210	+56	+36.6%

為替レート                      82 円/\$                      97 円/\$

\* 下期計画前提条件: 為替レート95円/\$、メタノール\$400、原油\$105、国産ナフサ65,000円

# セグメント別 売上高・営業利益見通し



注：第2四半期決算時発表値。第3四半期決算時点での見直しは行っておりません。

## 【売上高】

単位：億円

	13年3月期 実績	14年3月期 見通し	増減
セルロース	745	900	+155
有機合成	715	795	+80
合成樹脂	1,402	1,530	+128
火工品	660	775	+115
その他	64	70	+7
合計	3,585	4,070	+485

## 【営業利益】

	13年3月期 実績	14年3月期 見通し	増減
セルロース	136	175	+39
有機合成	53	68	+15
合成樹脂	112	116	+4
火工品	41	85	+44
その他	8	4	△4
全社	△87	△88	△1
合計	262	360	+98

# 予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものではありませんが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は、株式会社ダイセルに帰属します。  
いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

